

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教 科： 国語 科 目： 文学国語 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1～3組：高倉愛理沙）（4～5組：阿部広美）

使用教科書：新編文学国語（大修館書店） アライブ国語常識（浜島書店） 書いてマスター常用漢字（文英堂）

教科 国語 の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、深く共感したり豊かに想像したりして、書いたり読んだりする資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	小説としての着想のおもしろさや独特の表現を味わいつつ、登場人物の性格や心情に着目して近代文学の名作を読み味わう。 作品の鑑賞を通して人間心理について考えを深め、主題について自分の考えをもつ。 【知識及び技能】文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。【思考力、判断力、表現力等】他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察する。【学びに向かう力、人間性等】主体的に、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察する。	・指導事項 本文の読解 ・教材 「山月記」			○	【知識及び技能】文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。【思考力、判断力、表現力等】他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。【学びに向かう力、人間性等】主体的に、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。	○	○	○	17
	定期考査						○	○		1
	読書に興味をもち、積極的に読書に取り組む。 登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。 【知識及び技能】人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。【思考力、判断力、表現力等】文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。【学びに向かう力、人間性等】主体的に、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。	・指導事項 本文の読解 ・教材 「鉄道員」			○	【知識及び技能】人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。【思考力、判断力、表現力等】文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。【学びに向かう力、人間性等】主体的に、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。	○	○	○	17
	定期考査						○	○		1
	写真やイラストに合ったおもしろい言葉を考える。 読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。 【知識及び技能】言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。【思考力、判断力、表現力等】文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にする。【学びに向かう力、人間性等】主体的に、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にする。	・指導事項 文学的文章の創作 ・一人1台端末の活用		○		【知識及び技能】言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。【思考力、判断力、表現力等】文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。【学びに向かう力、人間性等】主体的に、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。	○	○	○	9

2 学 期		登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。優れた表現に触れ、読み味わう。 【知識及び技能】情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。【思考力、判断力、表現力等】作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。【学びに向かう力、人間性等】主体的に、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。	・指導事項 本文の読解 ・教材 「ころ」			○	【知識及び技能】情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。【思考力、判断力、表現力等】作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。【学びに向かう力、人間性等】主体的に、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	○	○	○	17
		定期考査						○	○		1
		筆者の考える夏の月の良さをとらえる。引用された作品を読み、解釈を深める。 【知識及び技能】文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。【思考力、判断力、表現力等】作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。【学びに向かう力、人間性等】主体的に、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。	・指導事項 本文の読解 ・教材 「夏の月」			○	【知識及び技能】文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。【思考力、判断力、表現力等】作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。【学びに向かう力、人間性等】主体的に、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	○	○	○	9
		登場人物の設定や描写の仕方をとらえ、読みを深める。 【知識及び技能】文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。【思考力、判断力、表現力等】文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確に捉える。【学びに向かう力、人間性等】主体的に、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確に捉える。	・指導事項 本文の読解 ・教材 「桐壺」			○	【知識及び技能】文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。【思考力、判断力、表現力等】文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確に捉えている。【学びに向かう力、人間性等】主体的に、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確に捉えている。	○	○	○	9
		できごとや心情を川柳の形式で表現する。印象的に表現するための言葉や表現を工夫する。 【知識及び技能】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使う。【思考力、判断力、表現力等】文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫する。【学びに向かう力、人間性等】主体的に、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫する。	・指導事項 文学的文章の創作 ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。【思考力、判断力、表現力等】文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。【学びに向かう力、人間性等】主体的に、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。	○	○	○	5

3 学 期	定期考査						○	○		1
	俳句の構成方法を知り、情景を「取り合わせ」の手法で表現する。季語について知り、興味と関心を深める。 【知識及び技能】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使う。【思考力、判断力、表現力等】文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫する。【学びに向かう力、人間性等】主体的に、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫する。	・指導事項 文学的文章の創作 ・一人1台端末の活用			○		○	○	○	5
	登場人物の考え方や生き方について、時代背景をふまえて考える。特徴的な表現に注目しながら作品を読み味わう。 【知識及び技能】情緒の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。【思考力、判断力、表現力等】語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。【学びに向かう力、人間性等】主体的に、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。	・指導事項 本文の読解 ・使用教材 「おぼろ月」			○		○	○	○	4
	これまでに学んできたことを活用し、読み手の助言もふまえて作品を仕上げる。共同で作品集の編集・制作に取り組む。 【知識及び技能】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使う。【思考力、判断力、表現力】文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。【学びに向かう力、人間性等】主体的に、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。	・指導事項 文学的文章の創作 ・一人1台端末の活用			○		○	○	○	4
	定期考査						○	○		1 合計 100